



発行所 公益社団法人 高知県診療放射線技師会  
発行人 会 長 岡林 正光  
事務局 〒780-0850  
高知市丸ノ内 1 丁目 7 番 45 号  
総合あんしんセンター 2 階  
TEL 088-872-4585  
Mail tomozen-akihiryu@power.odn.ne.jp

## 所 感

### 「本年静脈注射講習の所感」

副会長 高橋宏幸

平成 26 年 6 月 25 日公布された診療放射線技師法の改正は私たちにとって、大きなニュースであった。

造影剤の血管内投与に関する業務では、CT、MRI 検査時の造影剤自動注入器による造影剤の投与と造影検査終了時の抜針、止血をおこなうこと。下部消化管検査では、肛門からカテーテルを挿入し造影剤、空気等の注入をおこなうこと。画像誘導放射線治療時では肛門へのカテーテルの挿入、空気の吸引をおこなうこと。が業務上認められ、核医学検査機器は診療放射線技師による取扱いが法的にも明確化された。そして、検診車での胸部エックス線撮影は医師の立会いも不要になった。このように私たちの業務が拡大することは喜ばしいことであるが、リスクも伴うためその理解や回避のための講習を受けることが努力目標として課せられた。

本県では、昨年に引き続き、造影剤自動注入器による造影検査終了時の抜針、止血の講習会をおこなった。昨年は、20 名を下回っていた受講者は、本年は台風の余波やよさこい祭り重なったにも関わらず、最低ラインである 20 名を 1 名だが上回って開催された。実際、高知県内で CT、MRI の造影検査終了時の抜針が、診療放射線技師の手で行なわれているというのは少ないと聞いているが、業務拡大が法的に定められ、それに伴い国からの努力目標として講習を受けることが課せられたのだから、診療放射線技師がそれにどれだけ応えているか、恥ずかしくない回答が世間へ出せるようにという意識が働き、少ないながらも受講者の増加につながったのだと信じている。

現代人は、メリット優先。そんなの意味があるのとよく言うけれど、この夏の講習会では、診療放射線技師の行く末に、少しでも実りあることを願っているものがあることを確信できた。

## 会の動き

### 平成 26 年度 第 7 回常務理事会

11 月 4 日（火）、総合あんしんセンターにて第 7 回常務理事会を開催した。

### 第 2 回講習会報告

学術

11 月 1 日（土）15 : 00 よりあんしんセンター中会議室にて第二回講習会を開催した。

3 連休の初日と他の学会等もあり参加者は 12 名であった。内容は「診断 R I S における医療安全の取り組みと業務量の可視化 及び 医療機器を安全に使用するためのシステム化における効果」と題し、講師に（株）メディカルクリエイト 営業部 藤辺 健一郎先生を招き、当社の「診断 R I S」と「医療機器管理システム」紹介を中心とした講義内容で、特に医療機器管理システムは医療法で義務化された保守点検等の管理業務を簡素化できる構成で興味深いシステムであった。

### 東部地区主催ソフトボール大会報告

岡林正光

大会前に 2 日続きの雨で、今年も中止かと思われた方が多かったと思います。僕も思いました。しかし、当日の朝はどんより曇り空、なんとか雨は降っていません。わが家から車で 5 分のグラウンドに早朝に出向くと、水溜りが内外野にちょこちょこ・・・でも、ホームベース付近にはありませんでした。ひょっとしたら出来るかも・・・という気になり、問い合わせの電話には「今年はやります」と返しました。

予想はしていたものの、自己判断された方が多く、開始時間になっても人が集まりません。結局、集ったのは 13 名で、その中には徳橋名誉会員もいました。

せっかくなので、出来ることをしようという事になり、シートバッティング方式で安打競争をしました。優勝は所谷壽美さんで 20 打数 12 安打と驚異の 6 割バッターでした。徳橋名誉会員の 10 打数の 4 安打にも驚かせられました。また、この日紅一点の水口さんはバッターボックスを飛び出して(本当はアウト)果敢にボールを叩き、20 打数の 5 安打でした。守備は外野が悲惨で、ボールは落ちたところで止まるという田んぼ状態でした。センターを守っていた世話人の菅さんは、足がつるというアクシデントに見舞われながらも最後までプレーを続け、感動的 ? でした。

4 人で小チームを作り、試合形式でプレーもしましたが、来年こそ青空の下で本当の試合をしたいと強く思いました。お世話と多くの選手を出していただいた JA 高知病院のみなさん、ありがとうございました。

## 会計勉強会報告

巴 昭彦

日 時 11 月 13 日 (木) 18:30~20:00

場 所 本会会議室

本会の顧問税理士の松岡宣明氏に依頼し、法人会計に関する勉強会を開催した。内容は、基本的な会計原則である①真实性の原則、②正規簿記の原則、③明瞭性の原則、④継続性の原則の講義から始まり、続いて「公益法人会計基準」と事務フロー、日常会計業務へと話が進んだ。

財務諸表の『貸借対照表』は、ある日時の瞬間的な会計情報（財政状態）を表したもので、『正味財産増減計算書』は 1 年間の会計収支の流れを網羅的に記録したものであるという説明は、大変わかりやすかった。

そして、会計業務の重要なポイントは、①取引（収支）発生時にもれなく PC ソフトに入力すること、②現金管理を厳密に行い現物実査（会計監査）すること、③年度末には金融機関の残高証明書を請求し取得すること、と言われた。

実際の会計処理は、現在作成している『会計月報』を基に PC ソフトへ入力を行うと、「仕訳日記帳」（日付ソートの月報）と「合計残高試算表」（貸借対照表と正味財産増減計算書の元データ）が自動で作成されるので、それを基に決められた割合で「公益事業」と「法人事業」に仕分すると、必要な財務諸表が作成できるという説明であった。

今回の勉強会は法人会計処理を我々自身が行う上で大変有益であり、また役立つ情報を習得できたと思うが、実際にはまだまだ分らない点が多くありそうなので、期を見て 2 回目、3 回目の開催も計画していきたい。

## 第 8 回高知医療センター学術集会審査委員報告

高橋 宏幸

平成 26 年 11 月 15 日(土)第 8 回高知医療センター学術集会の審査委員として、岡林会長の代理として出席した。

この学術集会は、職員間で情報を共有し、医療技術の研鑽や質の向上などをに努めることを目的としたもので、今回は、高齢化と人口減少によりハイリスクな分娩の増加や研修医不足をどのように改善したかなど高知県の直面する課題に対しての改善の試みがなされた発表がされていた。

私たち診療放射線技師も他職種との情報共有が必要で、検査協力などを仰ぐためにも、出来るだけ管理区域外へ出向き理解を得る姿勢を持たなければと確信した。

**お知らせ****(公社) 高知県診療放射線技師会 創立 60 周年事業について**

本会は昭和29年に設立され、今年で60周年を迎えました。つきましては下記のプログラムにて祝宴を盛会に開催するよう準備を進めております。

何かと気ぜわしい師走を迎えておりますが、会員の皆様には参加チケット(1万円)の販売購入にご協力願いたく存じます。

開催日 平成 27 年 2 月 7 日 (土)

場 所 高知会館

13:30 受付開始

14:00 ☆記念講演 「2F 白鳳の間」 ☆一般公開

「四国の山々と動物たち」調査報告  
四国自然史科学研究センター

15:15 ☆歌の思い出 第 1 部

カラオケ大会優勝者による歌謡ショー(6名出演)

16:00 記念式典

17:00 記念祝賀会 「3F 飛鳥の間」

セレモニー?あり

17:15 乾 杯

17:30 歌の思い出 第 2 部

ディナーショー

19:30 閉会

**平成 26 年度中央東地区講習会のお知らせ****中央東地区理事 池田鉄兵**

3D 立体像モデルを利用した人工関節手術及び、一般撮影について講演して頂く予定です。講習会の後には情報交換会も中央東、中央南、中央西、西部地区での合同開催を予定していますので、そちらも参加をよろしくお願ひします。参加される方は各地区理事にお伝え下さい。

情報交換会の詳細はまた来月号に掲載します。

平成26年01月17日(土) 15:00～ (2時間程度)

高知市総合あんしんセンター 中会議室

講師：高知赤十字病院第二整形外科部長

内田 理(ただし)先生

## 新入会員、いらっしゃ〜い!

其の 27

新人紹介です。今回は、6 月に入会された高知医療センターの中田さんです。

ーこんにちは、中田暢将です。出身は三重県の名張市というところですよ。近くには忍者の里伊賀があります。山に囲まれた自然豊かな場所で、子供の頃は毎年冬には玄関先に自分の背丈ほどの雪だるまが作れるくらい雪が降り、夏も夜になると窓を閉め切らないと寒くて風邪を引いてしまうくらい涼しいところですよ。

出身校はどこですか？

ー出身校は徳島大学医療技術短期大学部です。現在は短大ではなく大学になっているためどうか分かりませんが、私が通っていたころはとても放任な学校でした。おかげで三年間ずっと友達と遊び続けることができましたが、就職してからとても苦労しています（笑）

この頃の友人は大事です。では、現在職場ではどのようなことをやっていますか？

ー以前は高知市神田にある厚生年金高知リハビリテーション病院（現在 高知西病院）というところで 7 年間お世話になりました。午前中は健診センターがメインで胃透視撮影、マンモグラフィ、胸部撮影を行い、午後からは本館に戻り、入院患者さんの撮影を行っていました。

現在は高知医療センターに勤務しており、一般画像撮影科に所属しています。一般撮影、マンモ、X 線テレビを行っています。大変なのがポータブル撮影で毎日 40 人近くも撮影しています。以前の病院では多くても一日に 3～4 人ぐらいのものだったので、ギャップが一番驚きました。高知医療センターにきて 8 か月ほどが経ちましたが、覚えることがまだまだ沢山あって悪戦苦闘の毎日を過ごしています。

う〜ん、ポータブル撮影が 40 名を超えるときついですね。では、趣味はありますか？

ー趣味というほどではないですが、自転車によく乗っています。もともとはガソリン高騰のため片道 10km の通勤費の節約のために乗り始めました。意外と 70km ぐらいなら誰でも簡単に走れるので、それが楽しくなってどんどんはまってしまいました。

医療センターにも今年から自転車部が出来て、部長がいろいろ計画を立ててくれて週末にはみんなで走りに行ったりしています。

自転車部ですか！今度、その話でエッセイを誰かにお願いしようかなあ？

では、あなたの技師歴と今後どんな放射線技師を目指しているのか教えてください。

ー技師歴は今年 13 年目になります。技師を目指したきっかけは、医療の分野とは全く関係ない親父の適切なアドバイス（楽しんで稼げるぞ！）に乗せられて受験した気がします。今の職場は覚えることもたくさんあって決して楽ではないですが、日々進歩する医療の現場で働けることはとてもうれしく思います。新しい事がどんどん出てきますがそれに置いて行かれないよう広い知識を持った技師になりたいと思います。

では最後の質問です。今後、技師会にどのようなことを望みますか？

ー専門的に携わっていない人でも参加できるような基本的な講習会とかあれば新しい分野を知るいいきっかけになるんじゃないかと思うので、詳しくない人でも聞きに行ける講習をお願いします。

ありがとうございました。今のご意見を参考に基本的な講習会・勉強会を企画していきたいと思えます。興味あるものにはどんどん参加はもちろんのこと職場の仲間たちを積極的に誘って意見交換・交流の場として利用してください。



## 総務報告 (2014/10/30 付)

1. 高知県の会員数	<u>222</u> 名
2. 本年度会費納入者	<u>177</u> 名
賛助会員	<u>10</u> 社
3. 25年度未納入者	<u>8</u> 名
4. 今年度新入会員数	<u>4</u> 名
(今月の新入会)	<u>1</u> 名
萩野 孝弥    もみのき病院	
5. 今年度再入会員数	<u>1</u> 名
(今月の再入会)	<u>0</u> 名
6. 今年度退会者数	<u>0</u> 名
(今月の退会者)	<u>0</u> 名
7. 今月の会員異動	なし

以上

### 【お詫び】

今月のリレーエッセイはお休みさせていただきます。 m(..)m

(文責編集広報)

この技師会だよりは、**キタムラメディカル**と**和光商事**のご協力により会員の皆さんに配送されています。